

梁川ホームだより

●平成22年4月22日発行

No.
29

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 岡崎 康之
福島県伊達市梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111(代) FAX 024 (577) 6115
■ホームページアドレス <http://www.shintatsu.jp> ■メールアドレス yanagawa@shintatsu.jp

事業内容

- 特別養護老人ホーム 定員 80名
- 短期入所生活介護 (ショートステイ) 定員 20名
- デイサービスセンター I型
- デイサービスセンター II型
- 地域包括支援センター
- ケアハウス 定員 30名
- 指定居宅介護支援事業所

総合老人福祉施設
〔梁川ホーム運営理念〕
安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

祝
開所記念
2010.4.6

おかげ様で今年、 13周年を迎えました



新理事長のあいさつのあとに梁川女声コーラスの皆様の歌声がホームに響きました

あちらこちらに若草色の芽が顔を出す頃に、梁川ホームの開所記念セレモニーが、来賓の方をお迎えしてなごやかに行われました。

梁川ホームの開所記念パーティーには、なくてはならない、梁川女声コーラスの皆様の美しい歌声を聴きながら、おいしいお寿司を利用者の皆様に食べていただきました。

今年もボランティアひろせの皆様には、利用者の方へのお手伝いで大変お世話になりました。ありがとうございます。

新年度を迎え、私たち職員は、気持ちを新たに頑張りますので、よろしくお願いします。

特集28 「人間尊重の 施設づくりに向けて」

梁川ホーム運営理念の具現化への第一歩

利用者へのよりよいサービス提供のために

社会福祉法人信達福祉会の挑戦



梁川ホームの母体となる社会福祉法人信達福祉会では、梁川以外にあつかし荘、川俣ホームの二施設を運営しています。

これまででは、法人三施設それぞれの特色を生かした介護サービスを提供することでお互いに切磋琢磨してまいりましたが、全国的に社会福祉法人としての歴史や施設運営のノウハウを持たない、さまざまな職種の会社などが介護保険サービス事業へ新規参入し数も増してくるにつれて、梁川ホームが利用者・ご家族の皆様にご喜ばれる施設であり、介護サービス事業所であることを目指すだけでなく、社会福祉法人信達福祉

会が運営する施設・事業所が皆様から選ばれる施設となり、なおかつ地域福祉に貢献できる社会福祉法人でありたいと考えています。

そのためには、同じ法人内で三施設がそれぞれバラバラにサービスを提供するのではなく、お互いに結束を固め、法人一丸の姿勢で良質なサービスを提供していかなければなりません。

この考えに沿って現在私たちが進めております、信達福祉会の取り組みを紹介させていただきます。

三施設統一献立

利用者の皆様の食事はそれぞれの施設ごと

に栄養士が献立を立てていますが、これを三施設で統一した献立にすれば、献立作成に要する時間を利用者お一人おひとりの栄養ケア計画作成、職員間のケア計画共有のための時間に使うことができ、より一層利用者の皆様の心身の状態に合わせた食事サービス（その方の食べやすい料理の形態を工夫、誤嚥の防止、栄養状態の改善等）を提供していくことが出来るようになると考えています。

現在は、各栄養士が一週間ずつ献立を担当し、三施設の利用者の皆様に同じものを食べていただいています。また、毎月三施設の栄養士が集まり、それぞれが作成した献立について意見を述べあったり、施設においては実際に介護に携わっていない園長をはじめ、他職種の職員にも食事をしてもらい、料理の見た目、味、季節感、何より大事な飲み込み感などを、検食簿をつけることにより細かくチェックをしています。



- ご飯
- 澄まし汁
- 凍み大根の煮物
- みつばのわさび和え
- さつまいもの黒砂糖煮
- 野沢菜の漬物
- 夏ミカン

ある日の三施設共通の昼食メニューです

これは、ソフト食（介護食）についても行っています。

社会福祉法人信達福祉会のどの施設を利用していたとしても、見た目も味も良く、季節感豊かで、なおかつ利用者個々の状態に合わせた美味しい食事を、できるだけ長く口から食べ続けていただくことが出来る、それが統一献立の目指すところです。

三施設間職員 相互交流研修

社会福祉法人信達福祉会に勤務する職員は、採用時にそれぞれの施設・事業所に配属されます。

これまででは、職員は自分の勤務する施設を大切に思っていて欲しいという願いから、施設間の職員異動はあまり行ってきました。

今後は法人内の介護サービスについてどの施設をご利用いただいても、同じサービスをご提供出来ることが、選ばれる法人の条件であるとの思いで、職員個々が自施設で提供しているサービスの振り返りを行い、他施設の優れているサービス内容を自施設に持ち帰る、



毎月三施設の栄養士が集まって話し合っています

または自施設でのサービスの取り組みを研修先の施設に情報提供し、それぞれの施設における職員の資質向上、介護技術の向上をめざしながら、なお且つ職員同士の交流を図ることを目的として、昨年8月、「三施設間職員相互交流研修」事業を開始しました。

研修の対象となる職員は全職員ですがまずは介護職員から開始、研修期間は一ヶ月間、一名の介護職員があつかし荘または川俣ホームで研修を行います。同様にあつかし荘および川俣ホームの職員も交互に梁川ホームに研修に来ております。

梁川ホームでは、昨年度中に老人ホームの総括主任介護士、主任介護士、副主任介護士までの研修が終了しました。

今年度も新年度の体

制が落ち着いた時期を見ながら、研修を再開する予定であります。

パソコン ネットワーク化

今までは、介護記録や財務会計などは施設ごとにパソコン導入していましたが、今後、施設間ネットワーク接続を図ることにより、法人の一体的経営が可能となります。

法人の結束を固めていくにあたり、迅速な情報の共有と処理には、ネットワークの整備は欠かすことができません。

梁川、桑折、川俣と距離的に離れている各施設をパソコンのネットワークで結びつけ、介護情報や経理管理などを一元化し、事故防止や感染症予防の取り組みの共有化、経費節減を行い、三施設にお

ける今以上の経営の安定を図っていくことが急務であると考えております。

当法人が常に、地域の皆様には選ばれる施設となれるよう、三施設がお互いに助け合い・支え合いながら、なおかつ法人全体で妥協のないサービスの質の向上を目指していきたいと思っております。

そして、一施設、一事業所の職員としてではなく、施設の枠を取り払い、社会福祉法人信達福祉会の職員として一丸となつて進んでまいります。



梁川ホーム

佐藤マキエ様 百歳賀寿 おめでとうございます

3月4日に佐藤マキエ様の百歳賀寿のお祝いがありました。

賀寿贈呈式の

あとにご家族様をお招きして、施設職員も参加させていただき会食をいたしました。

マキエ様の好物の「甘いもの」づくしで、ぼたもちや桜ゼリー、苺の手作りムースケーキを添え、梅酒で乾杯してマキエ様の百歳をお祝いしました。

佐藤マキエ様からは、

「おいしい、おいしい」と何度も言っていただけ満足していただけた。」「長生きの秘訣は？」とお尋ねすると、



ステキな着物姿で賀寿を受け、その後そろって記念撮影をしました

「好き嫌がなく、なんでも食べる」とのこと。いつまでもお健やかにお過ごしください。また、すように、そして、百歳のお誕生日、心からお祝い申し上げます。



カラオケ大会

2月16日にカラオケ大会を開催しました。

歌好きの利用者様に集まっていただき、皆様の馴染みの歌、「与作」や「さざんかの宿」などの歌に合わせて、

手拍子やマラカス、鈴を鳴らしていただきカラオケを楽しんでいただきました。



一緒に口ずさんで楽しそうですね



節分

2月3日の、節分には恒例の豆まきをしました。今年は、赤鬼、青鬼、



鬼に囲まれても貫禄がある利用者様方です

黄鬼の他にかわいらしいピンクの鬼も登場し、利用者の皆様には元氣よく豆まきをしていただき、にぎやかに鬼退治をしました。



もちこし団子づくりにチャレンジ



もちこしで団子を作ってみようということになり、3月11日にももちこの粉を練って団子に丸めてみました。それを茹ると出来上がり。

味付けはあんこ？それともみたらし団子？部屋中に小豆の香りが漂う中、両方の味を楽しんでいただきました。

デイサービスセンター

ボランティア
紹介



平成21年3月から、毎週月曜日にボランティアに来て下さっている曳地信子さんです。ボランティアにいらっしゃるようになってから一年がたち、すっかり月曜日をご利用の方々とも顔なじみになりました。

話し相手になりながら、さりげなくお茶もどうぞ！



ださったり、話し相手になど、利用者様にとってホッとする存在になっています。

今年も恒例のもちつきをしました



今年は、ホームの栄養士が初めてのあいど



最初はおっかなびっくりでしたが、皆様のご指導のたまもので…



年季が入った利用者様のあいどりにさすがー!!

りをしました。

献立を作るのとは勝手が違い危なっかしい手つきでしたが、利用者の皆様からご指導いただき無事お餅がつきあがりました。

おいしいお餅ができ、旧正月を祝って皆様に食べていただきました。

五十沢小学校の
児童さんたちの
訪問がありました



今年も五十沢小学校の児童さんたちが遊びに来てくださいました。毎年、そろそろ来れる頃だなあと心待ちにしています。

歌を聞かせていただいたり、利用者の方は童心に返って手遊びをしたり、肩を揉んでもらったときには、泣きそうになる利用者の方もいらつしました。どうぞ、また来てくだ



子どもさんたちとのふれあいを楽しんでいただけました



ちぎり絵

完成品です。なかなかいいでしょ！



利用者の皆様で協力しながら、季節にあつたちぎり絵を作成しています。

現在は、ちよつと早いけれどもこのほりを作成しています。



ケアハウス広瀬

今年もしつかり
初詣に行つて
きました

1月5日に
天神様と八幡
様に初詣に行つ
て来ました。

そのあとは、
いつものように五十沢
の白鳥見物に行きまし
たが、今年は一羽も白
鳥がいませんでした。
代わりに近くの饅頭
やさんで、桜餅などを
買って帰ってきました。



始めに天神様でお参りました

2月3日 節分



今年も恵方巻とすい
とん汁と豆を入れるマ
ス作りを皆様にしてい
ただきました。

今、流行りの恵方巻
より、すいとん汁がお
いしかったですとの感想を
いただきました。
やっぱりね……懐か
しい味ですものね。



3月3日 ひな祭り

毎年恒例のひし寿司
と、三食だんご作りを
皆様にお願いしました。

今年は特にひし寿司
がきれいにちょうどよ
い大きさに出来上がり
しました。



緑の団子は抹茶入りです

三色だんごも、ちょ
うどよい固さと甘さに
仕上がりに、おひな様
にお供えしてか
らいただきました。
した。



クラブ活動のいろいろ

民謡教室



毎月3回、菅野
桃李先生と三味線を弾
いていたでく敦賀さん
においでいただき、民
謡教室を開いています。
心地よい声が響いて
きます。

陶芸クラブ



丹野隆雄先生には長
年、陶芸のご指導をし
ていただいています。
今、作っているのは
花瓶やコーヒーカップ
です。

カラオケ喫茶



毎月1回、カラオケ
指導の椎名正枝先生の
艶やかな舞と歌に、う
っとりしながらのカラ
オケ喫茶です。

まゆ手工芸品展示会見学



梁川分庁舎一階ホー
ルに飾られたまゆ手芸
品が、本物そっくりな
ので感心しながら見て
きました。

伊達市梁川地域包括支援センター

TEL (577) 6111

地域包括支援センターは、介護保険法改正により平成18年4月1日に各市町村に設置されました。

伊達市梁川地域包括支援センターも、梁川地区の保健、福祉、医療の向上と虐待防止、介護予防ケアマネジメントなどを総合的に行う機関として、伊達市より総合老人福祉施設梁川ホームに委託され今日にいたっています。

地域包括支援センターでは、主任介護支援専門員、社会福祉士、正看護師などが中心となつて高齢者の皆様の支援を行います。

三人はそれぞれ専門分野を持っています。が、専門分野の仕事だけ行うのではなく、お

互いに連携をとりながら「チーム」として総合的に皆様の支えます。

地域の高齢者の皆様が住みなれた地域で安心して生活していけるよう、生活上のさまざまな問題を総合的に支える、身近な相談窓口です。

お気軽にご相談ください。

どんなことをする所？

① 介護予防マネジメント業務

伊達市の介護予防事業や要支援の方の介護保険サービス利用の支援を行います。

また、介護保険に関する相談や手続きの代行なども行っています。

② 権利擁護業務

安心して暮らしていくために、虐待の早期発見、把握に努め、悪質な詐欺商法などの消費者被害についても対応します。

③ 包括的・継続的マネジメント支援業務

地域の民生委員さんや居宅介護支援事業所など、さまざまな関係機関と連携を図り、皆様の生活を支えるネットワーク作りに取り組んでいます。

④ 総合相談業務

介護に関する相談や心配事、悩み、それ以外にも福祉や医療、健康や生活に関する相談、また、どこに相談したらいいかわからない

い場合にもご相談いただければ、適切な機関や制度の利用へつなげます。

その他にも、地域との連携において、各地域での健康相談、介護保険制度の説明会なども受け付けています。内容については、人数や参加者に応じて、ご希望に添えるようなご提案をさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

「地域支援講習会」 どこへでも参ります。

どうぞお気軽にご相談ください。

伊達市梁川地域包括支援センター
TEL 024(577)6111

介護保険や福祉用具など、介護に関するご相談をお受けしております。お気軽にご相談下さい。



梁川ホーム指定居宅介護支援事業所
TEL 024(577)6111



梁川ホーム感染症委員会より

昨年の5月頃より、新型コロナウイルスインフルエンザが全国的に流行し、新型コロナウイルスインフルエンザの蔓延防止が高齢者福祉施設では、とりわけ重要な対策となりました。

また、冬期間に流行する感染性胃腸炎は集団感染を起こしやすく、感染防止対策がとて大切な感染症です。新型コロナウイルスインフルエンザや感染性胃腸炎に対する当ホームの対策をお知らせします。

新型コロナウイルス予防



- ・うがい
- ・手洗い
- ・マスクの着用
- ・環境整備（湿度60～70%、温度18～20℃）
- ・ワクチンの接種
- ・感冒症状のある面会者の制限
- ・インフルエンザと診断された職員のケアへの

従事禁止

・清掃の徹底

急性感染性胃腸炎

（ノロウイルス）

- ・利用者の便やオムツを処理するときは、使い捨て手袋をつける
- ・嘔吐物の処理をするときは、広がりやすいので、手袋のほか予防衣、マスクをつける

①嘔吐物を布や濡れた新聞で被い、確実に集めてビニール袋に入れる

②床は次亜塩素酸ナトリウムで拭き取り、

ビニール袋に入れる

・介助後、配膳前、食事介助時は、手袋をはずしたときも必ず手を洗う

・胃腸炎症状のある面会者の制限

者の制限

※次亜塩素酸ナトリウム

ハイターの希釈液0.02%

0.1%液を使用

ボランティアの来園状況

（平成21年12月～平成22年3月）

- ▼門馬嘉彦様外5名様（福島市）：コンサート▼ボランティアひろせ様（梁川町）：窓ガラス拭き▼社団法人伊達市シルバー人材センター役員様（梁川町）：窓ガラス拭き▼チャイルドひかりガーデン様（福島市）：舞踊▼五十沢小学校児童三年生様：舞踊▼伊達市健康推進員OB会様（保原町）：舞踊、歌謡▼八巻しおり様（保原町）：利用者の話相手

【新年会】

- ▼社団法人伊達市シルバー人材センター様（梁川町）：餅つき
- ▼ボランティアひろせ様（梁川町）：餅ちぎり
- ▼JAふれあいグループつくし会様（梁川町）：ボランティア喫茶▼梁理ホーム会様（梁川町）：理髪▼丹野隆雄様（梁川町）：ケアハウス陶芸教室指導▼佐藤與四郎様（梁川町）：将棋クラブ▼伊達方部退職公務

員連盟女性部様（梁川町）：壁面装飾▼三浦理容店様（梁川町）：デイサービス利用者様の理髪▼梁川俳句会様（梁川町）：毎月ケアハウスに俳句を掲示▼椎名正枝様（梁川町）：ケアハウスカラオケ指導▼菅野桃李様、敦賀サト子様（保原町）：ケアハウス民謡教室指導▼曳地信子様（梁川町）：デイサービスで話し相手

ご遺志・ご芳志・ご寄付・ご寄贈の状況

（平成21年12月～平成22年3月）

- 津村 栄様（故津村 卯八様）
- 斎藤 福治様（故斎藤ヨシ子様）
- 幕田 義重様（故幕田 キヨ様）
- 菊池 市郎様（故菊池 仙治様）
- 菅野 洋子様（故佐戸川カクノ様）
- 遠藤 善紀様（故遠藤みよの様）
- 間辺 勇様（故間辺 ヨシ様）
- 松井 敏夫様（故松井 嘉一様）

●梁川地域平成22年成人式実行委員会様（梁川町）：モジユラー式車イス●梁川ライオンズクラブ様（梁川町）：ポインセチア●株式会社山際ホース専門店から福祉基金様（梁川町）：さらら福祉基金●伊藤郁子様（梁川町）：手芸品●菊池市郎様（梁川町）：紙オムツ●三浦初枝様（梁川町）：紙オムツ●原田悦男様（梁川町）：手さげバッグ●志賀輝江様（梁川町）：ティッシュボックス●間辺弥寿子様（梁川町）：吸引機、紙オムツ等

看護職員を募集しています

ただいま梁川ホームデイサービスセンターでは、看護職員を募集しています。詳細につきましては、

梁川ホーム

TEL(577)6111

までお問い合わせください。

